

# 東信



ジャズ好きが集まる場所を目指す秋山さん

秋山さんがジャズを好きになったのは都内の大学に通っていた頃、姉にLPレコードを借りて聴いたことがきっかけ。近くのジャズ喫茶に毎日足を運び、2時間近く聴いて

「上田にもジャズを楽しめる店がほしい」と、ジャズ愛好家の秋山優一さん(63)は上田市中央西Ⅱが、上田市中央3にジャズ喫茶「A列車」を今月開業した。往年の名曲から最新ナンバーまでジャズを聴くことができるという、ジャズ好きが集う場所を目指している。

## A列車へ行こう♪ 上田にジャズ喫茶開業

定年退職後、出身地の上田市に戻り、「近所のジャズ喫茶に入り浸ろう」と思っていた。だが、市内にジャズ喫茶は見つからなかった。「じゃあ、自分でやってみよう」と開店を決めた。

店名は、名曲「A列車で行こう」にちなんで付けた。店には、800枚ほどのCDをそろえている。ホームページ上でブログを始め、曲や演奏者について解説し、ジャズの魅力を発信している。秋山さんは「お客さんに『マスター、ブログに書いてあった曲をかけてよ』と言ってもらうのが理想。昔からのファンや興味を持ち始めた人が集まり、楽しく話ができる場になりたい」としている。

営業は平日午後3〜10時、土日祝日は同1〜8時。定休日は水曜日と第一日曜日。問い合わせはA列車(☎080・26680・0011)へ。

## 写真県展 きょうから上田会場展

第68回写真県展(信濃毎日新聞社、県写真連盟主催)の上田会場展は21日、上田市天神の市立美術館で始まる。24日まで。自由作品、ネイチャー作品、組み写真、学生の4部門の入賞・入選作品計303点と県写真連盟役員の招待作品4点を展示する。上田地方からの応募作品は準特選に4点が選ばれた。



準特選の作品を紹介する西川さん(右)

赤堀峰晴さん(66)は東御市常田Ⅱは自由作品の部で準特選に選ばれた。タイ北部チェンマイで伝統のろうけつ染めのデザインをする老婦人の姿を撮影。赤堀さんは「命ある

## 上田ゆかりの 芸術家作品展

市立美術館

上田ゆかりの作家を中心に紹介する「上田市立美術館コレクション 新収蔵品展」が、同市天神の市立美術館で3月17日まで開かれている。2016年以降の収蔵作品など計33点を会期中、前期、後期に分けて展示する。



雷電を描いた米津さんの作品を紹介する小笠原さん

近代の作品を飾る第1部は、上田市出身の彫刻家で画家の中村直人(1905〜81

## 小諸市議選 事前審査に17派出席

小諸市選挙管理委員会(17)は上田市吉田Ⅱは、浅間山から、月がひときわ大きく昇る光景を撮影。月が昇るタイミングや場所を調べて臨んだ撮影を振り返り、「なかなか

かと思うように撮れないところも楽しみの一つ」と話した。午前9時〜午後5時(最終日は午後4時まで)。入場無料。

元職1人、新人2人。年代別では70代が1人、60代が11人、50代が3人、40代が2人だった。党派別では無所属が13人、公明党と共産党がともに2人。女性は1人。欠席した1派は60代の無所属の女性現職。

他に出馬を検討する動きもあり、選挙戦になるかどうかは流動的だ。



結成確認書を受取るクラブ初代会長

を描いた紙を二つちた絵の具の独特の作風が、人は「どんな音が想像して楽しんでいる。」

第2部は、津福祐さんな品を展示。東戸時代の力士が相撲をするを描いた迫力

佐久ライオンメンバ

高校生の